



狛江駅前で行った衣類などの回収のテスト

## 不要な衣類やおもちゃ回収

### クリーニング会社が店頭ボックス

市内でクリーニング業を営む(株)つくば商会(東和泉1-34-22)が、家庭で不要になった衣類やおもちゃなどをリユースするために回収するボックスを店頭で設置する取り組みを狛江市内で初めて2月からスタートさせた。

同社はSDGsの実現に向け以前からハンガーの回収などを行っていたが、「地球にコミットする循環型商社」を掲げる(株)ECOMMIT(本社:鹿児島県薩摩川内市)が行っているPASSTO(パスト)事業に触発され、同社でも導入を検討。令和7年開始に向けて、昨年12月28日と29日に狛江駅の「小田急マルシェ」でPRを兼ねたテストとしてPASSTOのボックスを置いた。急な実施にもかかわらず、111人から多くの衣類やおもちゃなど約500kgが寄せられた。また、同時に実施したアンケートでは衣類の回収がもっとあったら良いと考える人は88%にのぼったという。

そうした結果を受け、同社では、地域貢献として2月1日田から狛江市、世田谷区、川崎市にある直営の全16店舗で回収を始めた。

通常はボックスを置いて回収しているが、置けない店では店頭カウンターで受け取るという。回収するものは子ども服、トップス、ボトムス、ジャケット、コート、スカートなどの衣類、帽子、腕時計、財布、リュック、ベル

ト、アクセサリーなどのファッション雑貨、ゲームソフト、ミニカー、ぬいぐるみなどの玩具ほか。なお、靴下、肌着、着物、水着、制服、体操着、ユニフォーム、靴、スリッパなどは回収しない。また、壊れたもの、パーツが足りないもの、汚れたものも受け付けない。

(株)ECOMMITによると回収した衣類は同社が仕分けし、国内や海外で再流通させている。それにより、そのままの形で使われるリユースが80%以上、リサイクルも含めると98%以上が循環されているという。

### 日本の伝統文化を体験 国際交流協会がパーティー

狛江市国際交流協会(吉野琢也会長)が1月26日(日)に「ニューイヤーパーティー2025」を西河原公民館で催し、アメリカ合衆国、ウクライナ、チェコ共和国、ベトナム、チリなどの外国人22人と同会会員など合わせて85人が参加した。外国人たちは着物や日本舞踊、玉すだれなど日本の伝統文化を通して、交流を深めていた。



皿回しを楽しむ参加者たち



ト、アクセサリーなどのファッション雑貨、ゲームソフト、ミニカー、ぬいぐるみなどの玩具ほか。

事前申し込み制の着物の着付けには外国人など17人が参加、華結いの会と四季の会の会員が約2時間かけ、振袖や訪問着などの着付けを行った。チリ出身の女性は「来日した時から着物があこがれだったので、うれしい」とにっこり。母親がベトナム出身という20歳の女性は「20歳を祝う式典には参加できなかったので、振袖を着られてうれしい」と訪問着姿の母と記念撮影していた。

舞台では、小足立ばやし保存会の獅子舞、世田谷招福一座による南京玉すだれや皿回しが披露されたほか、希望者には玉すだれや皿回しを伝授した。また、美重駒会の会員の指導で東京音頭や狛江音頭などを踊り、なごやかに交流を深めていた。



振袖の着付け

### フードバンクへ143kgの食品 社会福祉法人連絡会から寄贈

障がい福祉サービス施設など社会福祉法人7団体でつくる狛江市社会福祉法人連絡会(代表・富永浩正狛江保育園長)が1月30日(日)に特定非営利活動法人フードバンク狛江(田中妙幸理事長)へ食品や菓子など143.1kgを贈った。

1月14日(日)～28日(日)に各法人の利用者や関係者、職員などに呼びかけ、米や乾麺、イン



フードバンクに贈られた食品

スタント・レトルト食品、缶詰、菓子などが寄せられた。

同会では令和3年から毎年この時期に食品の寄贈を行っており、今回で4回目。田中理事長は「昨年を少し下回りましたが、物価上昇の影響で食品寄贈が減る傾向にあるので、すごくありがたいです」と喜んでいました。

### 30日に桜まつり初開催 狛江団地自治会が企画

狛江団地自治会が30日(日)(小雨決行)午前10時～午後4時に初の「桜まつり」を催す。

タコの遊具がある藤塚第三公園を会場に音楽演奏やカラオケに加え、輪投げなどの子ども向けのイベント、食べ物などの出店やキッチンカーなどを用意す



### こまえくぼ 1234 からのお便り

#### ボランティア体験イベント

ボランティア活動の入口として参加できるプログラム

##### ■おりがみボラ

5日(日)・4月2日(日) 午後2時～3時30分 小まえ正吉苑二番館いちようホール。折り紙を習ったり、教え合ったりする。習った折り紙を地域で教えるボランティア活動にも生かしている。

##### ■切手ボラ

24日(日)午後1時～2時30分 小まえ正吉苑二番館いちようホール。

#### 狛江市市民活動支援センター(こまえくぼ1234)

〒201-8585 狛江市和泉本町1-1-5 狛江市役所5階 ☎5761-5556 FAX5761-5033

info@vc.komae.org 開館時間=午前9時～午後5時 休館日=土・日曜日、祝日、年末年始

る。同公園をはじめ団地内には、太いソメイヨシノが数多くあり、市内でも指折りの桜の名所として親しまれている。

自治会では「初めて開催するイベントなので、たくさんの人に楽しんでもらいたい」と話している。

問い合わせは☎3488-0933 狛江団地自治会。

### 狛江のコーヒーに親しんで ほこみちで初のイベント

たくさんの人に狛江のコーヒー店に親しんでもらおうと「Komae Coffee Bloom2025春」が2月15日(日)に狛江駅北口のほこみちエリアで催された。

K.Base Roastery Lab.を経営する繁平光伯さんが、クラフトビールの次はコーヒーで街の活性化を図ろうと思い立ち、今回出店した5店舗とともに企画。市内に多くのコーヒー店があり、それぞれオリジナリティに



ほこみちに並んだコーヒー店のテント

ここに掲載している情報についてはこまえくぼ1234へお問い合わせください。

ぴあセンター3階ボランティア室。集められた使用済み切手の整理を行う。ハサミを使って古切手を整えたり、仕分けをするなど簡単な作業をするボランティア活動。

#### ボランティア募集

##### ■ボランティア活動者の募集情報

狛江市内の高齢者施設、障がい者施設では、活動の手伝い、作業の補助などのボランティアを募集している。市民活動団体でも一緒に活動を手伝ってくれる人、イベント時に手伝いをしてくれる人などを募集している。

ホームページには、多くのボラン

富んだコーヒーを提供していることを市民に知ってもらおうと狛江まちみらいラボ、小田急SCディベロップメントの後援で開催したもの。

会場にはK.Base Roastery Lab.、NARUTO COFFEE、ぼえむ狛江南口店、ENJOY、Dagss Coffee、堀口珈琲が出店、いれ立てのコーヒーや焼き菓子、サンドイッチなどを提供、訪れた市民らは青空の下でじっくりと香りや味を楽しむとともに、出店した人とコーヒー談議をかわしていた。

繁平さんは「たくさんの人に喜んでもらえて良かった。次回は秋に開催の予定で、さらに多くのコーヒー店に参加してもらって開きたい」と話していた。

ティア募集情報が掲載されている。

#### ボランティア活動4つの原則

～共に支え合い、学び合う『社会性』について～

わたしたちの社会には様々な課題が存在します。こうした課題を発見し、改善していくためには一人ひとりが考えることと、多くの人々と協力しながら力を合わせて行動することが大切です。

次回は「無償性」についてお話しします。



ホームページはこちら →